

学校法人豊田学園
岐阜保健短期大学
機関別評価結果

平成 26 年 3 月 13 日
一般財団法人短期大学基準協会

岐阜保健短期大学の概要

設置者	学校法人 豊田学園
理事長	河田 美紀
学 長	永井 博弼
A L O	岩久 文彦
開設年月日	平成 19 年 4 月 1 日
所在地	岐阜県岐阜市東鶉 2 丁目 92 番地

設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
看護学科		80
リハビリテーション学科	理学療法学専攻	80
リハビリテーション学科	作業療法学専攻	40
	合計	200

専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

なし

通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

機関別評価結果

岐阜保健短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 26 年 3 月 13 日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成 24 年 6 月 12 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

医療福祉専門学校を設置している学校法人豊田学園は、平成 19 年に当該短期大学を創立した。当該短期大学の建学の精神は「命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成」である。この建学の精神は学内外に表明され、看護・リハビリテーション両学科の教育目的・目標は、建学の精神を踏まえて掲げられている。両学科では国家試験受験資格のため、各授業で試験、レポート、授業態度等をつぶさに測定して、学習成果を高める努力を重ねている。

PDCA サイクルによる教育の向上・充実に着手し、授業アンケートを踏まえた授業改善に主眼が置かれているが、今後更に教育課程レベル・機関レベルの各層においても検証に努める必要がある。自己点検評価委員会は平成 22 年度から本格的に活動を開始し、その活動は教員会議で毎月報告されている。また、FD 研修会を催すなど全教職員の意識を高めている。しかし、今回作成された自己点検・評価報告書では「基準Ⅰ～Ⅳ」の記述が十分でなく、今後、自己点検・評価活動の在り方を改善することが望まれる。

入学者受け入れの方針は明確に示され、AO 入試・推薦入試・一般入試・専門高校生入試・社会人入試と多様な入試制度を整えて学生募集を行っている。両学科の教育課程は教育課程編成・実施の方針を踏まえて体系的に編成され、成績評価は教育の質保証を念頭に厳格に行われている。学位授与の方針は、教育課程編成・実施の方針と入学者受け入れの方針とは異なって形式的な記述になっているので、学位が授与されるために必要な学習の到達目標を明らかにすることが望まれる。

学生生活を快適に送ることができるように学生ホール、コンビニ等を設置するなどして、アメニティーの充実には配慮されており、学生募集に当たっては入学者受け入れの方針に従って広報活動に努め、多様な形態の入試を実施して臨み、入学直前には人体の仕組みを学ぶ機会を設けて学習の動機付けを行っている。

教員組織は短期大学設置基準及び関連法令が定める規定を満たし、教員の採用、昇任は教授会規程及び教員資格審査委員会規程に基づいて適切に運用されている。SD 活

動に関する規程は未整備であるが、事務職員は各種事務研修会に参加して研鑽に努めている。

校地面積及び校舎面積は短期大学設置基準を満たし、講義室や演習室等を適切に用意している。バリアフリーには十分な配慮がされ、火災・地震・防犯対策も適切に執り行われている。医療系短期大学であることから、図書館には医学中央雑誌 Web を利用した図書検索システムを整備し、Medline 等の電子媒体による学習にも対応している。

資金収支、消費収支ともに過去 3 か年にわたって均衡していて、財政は堅調であるが、教育研究経費については充実することが望まれる。また、学生確保の予測を踏まえた中・長期計画を速やかに策定するとともに、私立学校法で公開が求められている事業報告には、財務報告のみでなく法人の概要・事業の概要について詳しく記載する必要がある。

理事長は学校法人の管理運営体制の確立に努め、学長も教授会の適切な運営に努めている。監事は寄附行為に基づいて学校法人の業務及び財産の状況について適切に監査し、監査報告書を毎年度作成して理事会及び評議員会に提出している。

学園及び短期大学の財務状況は健全に推移しているが、リハビリテーション学科では定員未充足が続いており、定員をいかに充足するか学内で検討が重ねられ、学生確保のために様々な対応が試みられている。

評議員会は、私立学校法第 42 条及び寄附行為の規定に従って、理事長の諮問に応え、学園の健全な運営のために適切な助言を行っている。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ A 教育課程]

- 入試制度検討委員会に、学外の委員も加えて入試全体について学外からの意見を聴取しながら検討を重ねている。
- 「総合科学科目」では、岐阜市内のフィールド調査を基に郷土の歴史や伝統等を学ぶ「岐阜の風土と生活」という、地域性のある科目を設定している。

[テーマ B 学生支援]

- 国家試験不合格者に対して、卒業後 3 年間、授業料無料で合格に向けた指導を行っている。
- 地域の催すマラソン大会等で、救護活動等のボランティアとして積極的に参加する学生が多く、地域に貢献している。

(2) 向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果（合・否）と連動するものではない。

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ B 教育の効果]

- 学位授与の方針については、建学の精神・各学科の教育目標を踏まえ、また、教育課程編成・実施の方針と入学者受け入れの方針とが密接に連動する形で、学位が授与されるための学習の到達目標を表明することが望ましい。

[テーマ C 自己点検・評価]

- 本協会のマニュアルに従い、自己点検評価委員会で検討を重ね、課題、改善計画、行動計画を明らかにして、自己点検・評価報告書の内容、形式ともに整えたものとして作成する必要がある。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ A 人的資源]

- 事務職員は研修会等に参加して研鑽に努めるなど SD 活動は実施されているが、SD 活動に関する規程を整備することが望まれる。

[テーマ D 財的資源]

- 短期大学の将来像や中・長期的な財務計画が策定されていないので、速やかに策定することが望まれる。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

[テーマ A 理事長のリーダーシップ]

- 理事長は、財務面のみならず事業計画の制定についても理事会でリーダーシップを発揮し、学園の管理運営体制の確立を更に努めることが望ましい。
- 事業報告書は、私立学校法の趣旨に基づいて法人の概要・事業の概要についても公開する必要がある。また、財務については図を用いたりして分かりやすい公開に努めることが望まれる。

[テーマ B 学長のリーダーシップ]

- 学長は、教授会とその下にある諸会議や諸委員会の再構成等の検討を含め、効率的、機能的な運営に一層努めることが望まれる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

	基準	評価結果
基準Ⅰ	建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ	教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ	教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ	リーダーシップとガバナンス	合

各基準の評価

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

平成19年4月に開学した短期大学であり、教育・研究・経営・運営の諸面にわたって先進短期大学から多くを学んで、学園として成長を遂げることが望まれる。建学の精神は平成23年度に、学則第1条の掲げる教育の目的を踏まえて「命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成」と確定した。建学の精神は各種式典、オープンキャンパス等で繰り返し示し、学内で学生、教職員に周知させるとともにウェブサイト・学生便覧等で学内外に表明され、諸会議で定期的に確認されている。看護・リハビリテーション両学科の教育目的・目標は建学の精神に基づいて掲げられ、学内外に表明されている。

両学科で修得する学習成果は、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の国家試験受験資格となるため、各授業においては試験・レポート・授業態度等を綿密に測定し、シラバスの掲げる「到達目標」の達成に努めている。学位授与の方針は、教育課程編成・実施の方針と入学者受け入れの方針と異なって形式的な記述にとどまっているので、学位が授与されるために必要な学習の到達目標を明らかにすることが望まれる。

関係法令の変更等は適宜確認して法令順守に努め、PDCAサイクルによって教育の質の向上に努めている。その眼目は授業アンケートを実施し学生の指摘に耳を傾けての授業改善であるが、科目レベルにとどまることなく教育課程レベル・機関レベルにおいても査定に努め、大学組織として多層から教育の向上・充実に努めていく必要がある。

自己点検評価委員会は平成19年度に制定された規程に基づいて、平成22年度から本格的に活動を開始した。その活動については教員会議で毎月報告され、また、FD研修会を催して全教職員の意識の高揚を図っている。しかし、今回作成された自己点検・評価報告書の「基準Ⅰ～Ⅳの記述」は極めて少なく、平成22年度に作成された中間報告とほぼ同じ内容となっている。自己点検・評価活動を平素より行い、当面する教育・研究・経営・運営の諸課題を見出し、改善計画や行動計画を策定していくことが強く望まれる。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

入学者受け入れの方針を明確に示し、AO入試・推薦入試・一般入試・専門高校生入試・社会人入試と多様な入試制度を整え、同方針を理解する学生の入学に努めている。両学科の教育課程は、教育課程編成・実施の方針を踏まえて体系的に編成され、成績評価は教育の質保証を念頭に置いて厳格に行っている。シラバスには科目の到達目標が掲げられ、基礎科目で身に付けた学力を専門科目で深め、国家試験合格に向けた教育課程の編成・実施に努めている。

学位授与の方針は、教育課程編成・実施の方針と入学者受け入れの方針と異なって形式的に述べられているので、いかなる学力を修得することによって学位が授与されるか、建学の精神が述べる「命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人」になるためには、どのような専門性を身に付けたらいいか、その「実質」を明らかにすることが望まれる。

FD活動としては、学生による授業評価を定期的実施して授業改善に生かすこと、教員を対象としたFD講演会を毎月開催して、教育の質の向上に向けた意識の高揚に努めることなどを重点に置いて行っている。基礎学力アップ講座、臨地実習対応講座、国家試験対策講座等を設置して学力向上に向けた支援を行うとともに、就職活動に対しては就職支援委員会と就職支援室が適切な支援を行っている。

学生生活を快適に送ることができるようアメンティの充実には配慮し、清潔な廊下の随所に絵画を掲げて芸術的な雰囲気を醸し出している。悩みを抱える学生に対しては、専門家が週1回カウンセリングを行ってメンタルヘルスケアに努めている。地域の催す各種イベントにボランティアとして積極的に参加する学生が多く、その地域貢献は高く評価されている。

学生募集に当たっては入学者受け入れの方針に従って広報活動に努め、多様な形態の入試を実施して臨み、入学直前には人体の仕組みを学ぶ機会を設けて学習の動機付けを行っている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

教員組織は、短期大学設置基準及び関連法令が定める規定を満たし、教育課程編成・実施の方針に基づいて専任教員と非常勤教員を適切に配置している。教員の採用、昇任は教授会規程及び教員資格審査委員会規程に基づいて運用され、専任教員の研究活動の状況はウェブサイトに掲載され、その成果は「大学紀要」で発表できるようになっている。FD活動としては、月1回の学内講師による講習会や事務職員との合同講演会の開催等、積極的な取り組みがみられる。

事務組織は、短期大学事務局長の下に総務課・学事課・企画広報課の体制で組織し、事務関連諸規程を整備している。SD活動に関する規程は未整備であるが、事務職員は各種事務研修会に参加して研鑽に努めている。また、各委員会には委員として加わり、教員との連携を図っている。

校地面積及び校舎面積は短期大学設置基準を満たし、敷地内に運動場と体育館を設置している。教育課程編成・実施の方針に基づいて授業を行うために講義室、演習室、

実験・演習室を適切に用意し、教育機器・備品を整備するとともに、学習の充実を図るために学習支援センターや自習スペースを設置している。

各棟や教室への入口には段差が生じないようにし、また、障がい者用のトイレを設置してバリアフリーに配慮している。火災・地震対策、防犯対策としては、毎月第一水曜日に点検活動を実施するとともに、毎年秋には地域の消防署の協力を得て防災訓練を実施している。

医療系短期大学として、図書館には医学中央雑誌 Web を利用した図書検索システムを整備し、Medline 等の電子媒体による学習にも対応している。学内 LAN が整備され、学内システムは業者と情報関係の教職員により適切に維持、整備されている。各教室には液晶プロジェクターが設置され、授業や研究発表に効果的に使用されている。

資金収支、消費収支ともに過去 3 か年にわたって均衡していて、財政は堅調である。資産運用は資産運用規程に基づいて安全に行っている。教育研究経費比率については充実することが望まれる。リハビリテーション学科では定員未充足が続いている。定員をいかに充足するか学内で検討を重ね、学生確保のために様々な対応を試みている。

経営、財務の一層の安定を図るためには、今後の方向や行程を示す具体的な中・長期の事業財務計画の策定が求められる。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

理事長は学校法人の管理運営体制の確立に努めているが、理事会・評議員会で明らかにすべき事業計画・報告は財務面に限られていて、学園・短期大学の経営を計画的に進めていく意識は十分とはいえない。学生確保の予測を踏まえた中・長期計画を速やかに策定し、その経営計画を踏まえての事業計画を年度ごとに策定して、見通しを持った経営に当たる必要がある。

学長は教授会の適切な運営に努めている。この教授会の下に各種の会議が持たれ、また、各委員会が設置されて校務が遂行されているが、その在り方については点検活動を行い、効率的で機能的でかつ機動的な運営体制を確立する必要がある。

監事は寄附行為に基づいて、学校法人の業務及び財産の状況について適切に監査するとともに、理事会には毎回出席して適宜意見を述べている。学校法人は監査法人の監査も定期的に受け、監事は監査法人と連携して業務を行い、監査報告書を毎年度作成して理事会及び評議員会に提出している。

評議員会は理事定数の 2 倍を超える数の評議員をもって組織され、私立学校法第 42 条及び寄附行為の規定に従って理事長の諮問に応え、学園の健全な運営のために適切な対応を行っている。

選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは 4 基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4 基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

教養教育の取り組みについて

総評

地域に貢献できる医療人を育成するに当たって、幅広い教養と豊かな人間性を育むことが肝要と認識して、総合教育学科目では外国語・情報科学・人間と文化・現代社会と人間・環境と科学の 5 分野で教養教育の充実に努めている。

両学科は国家試験合格を目指すため、その教育課程は過密に編成され、また 3 年次には臨地実習に比重が置かれるために時間割は極度に詰まり、教養を深める授業の履修は難しくなっている。諸般の事情で開講できない教養分野の科目については、岐阜地区の大学コンソーシアムを活用して履修が可能となるように検討を進めている。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 英語の授業において俳句を取り上げ、また、課外活動においても力を入れている。学生には俳句という日本文化に目が開かれ、全国大会で入選する者が出ている。